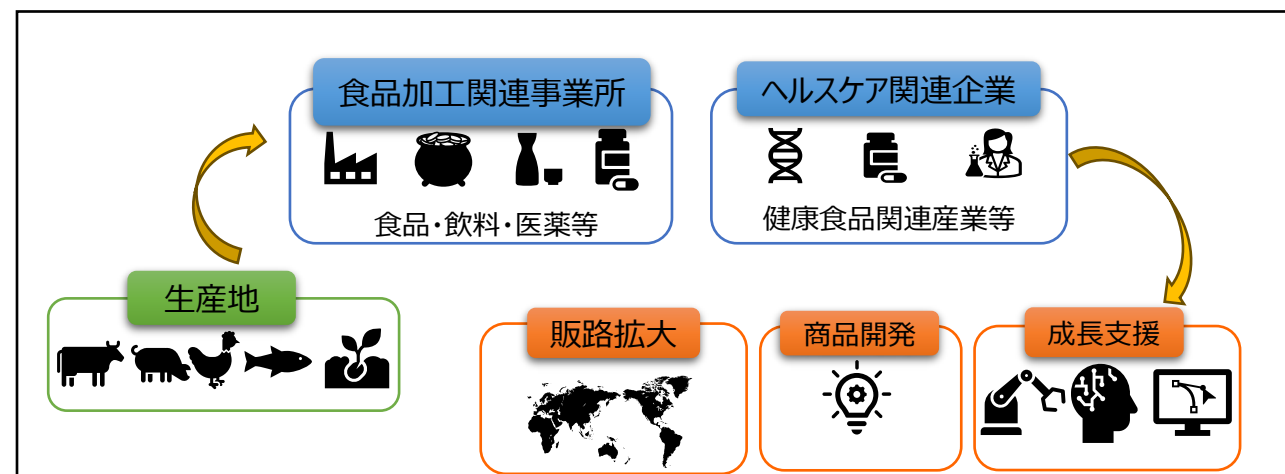


1. 産業領域

食品加工・ヘルスケア関連産業

2. 対象エリア

鹿児島県全域



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

・本県は、農業産出額全国2位を誇る「全国有数の食料供給基地」であり、食品加工関連産業は、製造品出荷額の5割以上を占めている重要な産業。多様な「日本一」を誇る本県の特性を生かし、菓子や調味料、焼酎など県内各地で個性豊かな加工食品が製造されている。

・本県は全国的に見て高齢化率が高く、医療・介護サービスの需要が増大しており、ヘルスケア産業にとって大きな機会となりうる。

（2）目指すべき目標

- ・官民投資額 950億円（R18）
- ・付加価値増加額 278 億円（R8 2,653億円 → R12 2,932億円）（伸び率 10.5%）
- ・産業人材数 30,210人（R12）

4. 勝ち筋

・従業者一人当たり付加価値額が全国平均より低いという課題があることから、生産効率の向上や競争力の強化等に向け、生産工程の自動化・省力化や、各種認証の取得・知財保護、地域資源を生かした新商品開発・規格外品の加工、人材確保の取組などを促進。加えて、関連産業の誘致による更なる集積促進を図る。

・豊富な農林水産資源や食品加工関連産業の集積を背景とする機能性食品素材を活用した健康食品関連産業等の生産効率の向上や競争力の強化等に向け、最新設備の導入支援、新製品・技術開発支援、各種認証取得の推進や、企業誘致、人材確保の取組などを促進。

また、電子関連産業の集積により蓄積された、電子部品や精密部品の製造技術や各種自動機の製造技術等をヘルスケア分野（医療・介護等）へ展開。

5. 政策手段

- ・食品加工関連製造業の生産工程の自動化・省力化に必要な機械装置の導入経費を補助する。
- ・食品加工関連製造業を牽引する企業に対し、商品開発や販路拡大を支援する。
- ・企業が行う事業所の設置等に係る設備投資や進出企業が行う設備の増設等を支援する。
- ・ISO等の認証の申請・取得や、専門スキルの習得や資格取得のための研修等受講に対し、支援する。
- ・知的財産戦略の推進により競争力を強化する。
- ・新製品・新技術開発や、AI・IoT導入にかかる経費を補助する。
- ・県内で新たに開発・製造・改良された食品等の商品のコンクールを開催する。
- ・新たな産業用地を確保し、市町村と連携して県外からの企業誘致を推進する。
- ・工業系高校等での企業説明会の開催や、若年者のUIターン就職支援、外国人材の受入体制整備などを実施する。